

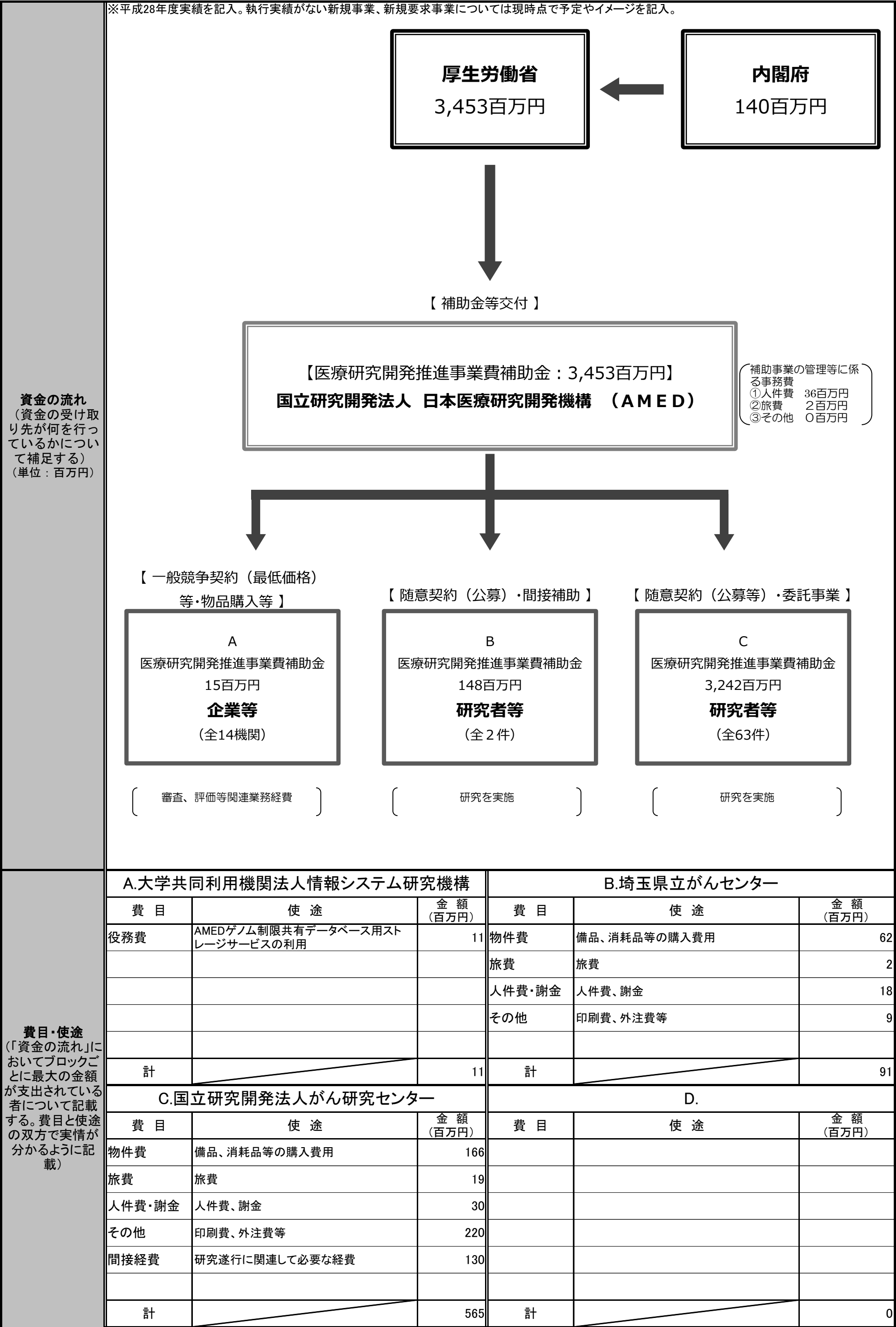
事業番号0884 - 05											
平成29年度行政事業レビューシート（厚生労働省）											
事業名	医療研究開発推進事業費補助金（疾病克服に向けたゲノム医療実現プロジェクト）				担当部局庁	大臣官房			作成責任者		
事業開始年度	平成27年度	事業終了（予定）年度	終了予定なし		担当課室	厚生科学課			浅沼 一成		
会計区分	一般会計										
根拠法令（具体的な条項も記載）	・健康・医療戦略推進法（平成26年5月30日法律第48号） ・国立研究開発法人日本医療研究開発機構法（平成26年5月30日法律第49号）				関係する計画、通知等	・「第5期科学技術基本計画」（平成28年1月22日閣議決定） ・「国の研究開発評価に関する大網的指針」（平成28年12月21日内閣総理大臣決定） ・「日本再興戦略2016」（平成28年6月2日閣議決定） ・「科学技術イノベーション総合戦略2016」（平成28年5月24日閣議決定） ・「健康・医療戦略」（平成26年7月22日閣議決定） ・「医療分野研究開発推進計画」（平成26年7月22日健康・医療戦略推進本部決定）					
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション				主要経費	文教及び科学振興					
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	急速に進むゲノム解析技術の進展を踏まえ、疾患と遺伝要因や環境要因等の関連性解明の成果を迅速に国民に還元するために、解析基盤の強化を図るとともに、特定の疾患の原因解明及びこれに対する臨床応用を推進する。										
事業概要（5行程度以内。別添可）	疾患及び健常者バイオバンクの構築と共にゲノム解析情報及び臨床情報等を含めたデータ解析を実施し、疾患及び薬剤関連遺伝子の同定・検証並びに日本人の標準ゲノム配列の特定を進める。また、共同研究等による難治性・希少性疾患等の原因遺伝子の探索や、ゲノム情報をいかした診断治療ガイドラインの策定に資する研究やゲノム医療実現に向けた研究基盤の整備及び試行的・実証的な臨床研究を一体的に推進する。										
実施方法	補助										
予算額・執行額（単位：百万円）			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
	予算の状況	当初予算	-	47,358の内数	47,759の内数	47,227の内数	54,723の内数				
		補正予算	-	-	5,844の内数	-					
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-					
		予備費等	-	8,895の内数	9,839の内数	6,720の内数					
	計		0	-	-	-	-				
	執行額		-	659	3,453						
	執行率（％）		-	-	-						
	当初予算＋補正予算に対する執行額の割合（％）		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!						
平成29・30年度予算内訳（単位：百万円）	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	医療研究開発推進事業費補助金		41,953の内数	49,023の内数	「新しい日本のための優先課題推進枠」11,087百万円の内数 保健医療分野におけるAI技術開発研究の推進や、新規事業の追加等による増。						
	（保健衛生医療調査等推進事業費補助金）		5,274の内数	5,700の内数							
	計		47,227の内数	54,723の内数							
成果目標及び成果実績（アウトカム）	定量的な成果目標		成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	—	—	成果実績	-	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	-	

		定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と26～28年度の達成状況・実績										
定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	定量的な成果目標の設定が困難な場合	「医療分野研究開発推進計画」に位置づけられた達成目標として定性的なものもあり、これらについても進捗の詳細を把握し、事業の検証を行っている。			【達成目標及び27年度における進捗の詳細】 ～2020年～2030年頃までの達成目標～ ・糖尿病などに関するリスク予測や予防、診断（層別化）や治療、薬剤の選択・最適化等に係るエビデンスの創出 →「ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業」では、2型糖尿病について、1000ゲノムプロジェクトphase3を用いたインピュテーションの後にゲノムワイド関連解析を行い、複数領域において2型糖尿病との関連を認めた（2016年5月）。このうち同定された糖代謝と関連する遺伝子のミスセンス変異について、タンパク質立体構造に影響を及ぼす可能性が示唆された（2016年7月）。また、心房細動の発症に寄与すると考えられる感受性領域を同定した（2017年2月）。 ・発がん予測診断、抗がん剤等の治療反応性や副作用の予測診断に係る臨床研究の開始 →「ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業」では、大腸がん患者を対象に累計1955人分の検体を収集した（2017年1月現在）。抽出した全てのDNAの質を評価し、解析可能ながん/正常DNAにつきターゲットシーケンスを実施した。 「臨床ゲノム情報統合データベース整備事業」では、がん患者における臨床情報とゲノム情報の紐づいたデータベース整備を開始した。 ・認知症・感覚器系領域のゲノム医療に係る臨床研究の開始 →「オーダーメイド医療の実現プログラム」では、認知症の疾患関連遺伝子解析に向けて、2013年度より血液サンプルと臨床情報について、認知症712症例を収集し（2017年2月現在）。 「臨床ゲノム情報統合データベース整備事業」では、認知症、及び感覚器領域において、疾患関連遺伝子の同定に向け臨床情報とゲノム情報の紐づいたデータベース整備を開始した。 ・神経・筋難病等の革新的な診断・治療法の開発に係る臨床研究の開始 →「ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業」では、インターフェロンβ治療を受けた多発性硬化症患者の累計216例の検体、インターフェロンβ治療以外の治療を受けている患者や類縁疾患の累計340例の検体をバイオバンクに収集した（2016年12月）。追加された検体を含めたGWAS解析を実施し、薬剤反応性、副作用に関連する解析に着手した（2017年1月）。 「臨床ゲノム情報統合データベース整備事業」では、神経・筋難病等について疾患関連遺伝子の同定に向けたゲノム解析を開始した。										
					代替目標		代替指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 －年度	目標最終年度 32年度
					事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	「医療分野研究開発推進計画」の執行状況～各省連携プロジェクト～（健康・医療戦略推進専門調査会による2020年（一部2020～2030年）頃までの各達成目標の進捗に係る評価）について、前年度の評価を上回る評価を得る。	「医療分野研究開発推進計画」の執行状況～各省連携プロジェクト～（健康・医療戦略推進専門調査会による2020年（一部2020～2030年）頃までの各達成目標の進捗に係る評価）（順調に進捗している／（順調に進捗している＋進捗が不十分）の割合）※「現時点では評価が困難」とされたものについては母数から除く。	実績	%	－	100% （4/4）	100% （4/4）	－	集計中	
								目標値	%	－	前年度以上	前年度以上	－	前年度以上	
達成度	%	－	100	100				－	－						
活動指標及び活動実績（アウトプット）	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込						
	契約件数（補助・委託）		活動実績	件	－	31	65	－	－						
			当初見込み	件	－	－	－	－	－						
単位当たりコスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込							
	X:「執行額」／Y:「契約件数（補助・委託）」		単位当たりコスト	百万円	－	82	52	－							
			計算式	X/Y	－	655/8	3,390/65	－							

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	研究を支援する体制を整備すること									
	施策	厚生労働科学研究事業の適正かつ効果的な実施及び医薬品等の研究開発の促進並びに保健衛生分野の調査研究の充実を図ること									
	測定指標	定量的指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 －年度	目標年度 32年度	
		「医療分野研究開発推進計画」の実行状況～各省連携プロジェクト～（健康・医療戦略推進専門調査会による2020年（一部2020～2030年）頃までの各達成目標の進捗に係る評価） （順調に進捗している／順調に進捗している＋進捗が不十分）の割合） ※「現時点では評価が困難」とされたものについては母数から除く。		実績値	%	－	100% （4/4）	100% （4/4）	－	集計中	
				目標値	%	－	前年度以上	前年度以上	－	前年度以上	
		定性的指標		目標		目標年度	施策の進捗状況（目標）				
		健康・医療戦略推進専門調査会による「医療分野研究開発推進計画」の実行状況に係るフォローアップの結果		前年度の評価を上回る評価を得る	32年度	前年度の評価を上回る評価を得る					
	施策の進捗状況（実績）										
	「医療分野研究開発推進計画」について、2020 年までの達成目標等の進捗に係る評価は妥当であり、現時点で評価が困難、進捗が不十分となった若干の項目を考慮しても、全体として、順調に進捗しているものと評価する。										
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
医療分野研究開発推進計画は、健康・医療戦略推進本部の下でPDCAサイクルを回すことになっており、すべての施策のフォローアップを行うこととなっている。健康・医療戦略推進法第21条に規定される医療分野研究開発推進計画の作成及び実施の推進に係る専門的な事項の調査を任務とする健康・医療戦略推進専門調査会においてのフォローアップ結果の評価を高めることで、厚生労働科学研究事業の適正かつ効果的な実施及び医薬品等の研究開発の促進並びに保健衛生分野の調査研究の充実を図る。											
経済・財政再生アクション・プログラム	改革項目	分野：	－	－							
	（第一階層） KPI	KPI （第一階層）			単位	計画開始時 年度	28年度	29年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	
		－	成果実績								
			目標値								
	（第二階層） KPI	KPI （第二階層）			単位	計画開始時 年度	28年度	29年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	
		－	成果実績								
			目標値								
	－	達成度	%								
		本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
	－										

事業所管部局による点検・改善			
	項 目	評 価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	少子高齢化の進展、疾病構造の変化、国民を取り巻く社会環境の変化、国民のニーズの多様化・高度化及び世界に先駆けて超高齢社会を迎える我が国における健康長寿社会の形成などに的確に対応した厚生労働行政が広く国民より求められている。 それらのニーズに対応するためには、産官学の各分野が協力して新しい知見を生み出し、適切妥当な科学的根拠に立脚した行政施策の実施、基礎から実用化までの一貫した研究開発を推進する必要があるため、これらの施策を達成するには国費を投入する必要がある。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	「健康・医療戦略」、「医療分野研究開発推進計画」、「第5期科学技術基本計画」、「科学技術イノベーション総合戦略2016」等に基づく医療分野研究開発事業であり、国が実施すべきである。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	各研究課題ごとに成果目標等は異なるが、国内の試験研究機関や大学等に所属する研究者や医療分野に係る基礎から実用化までの一貫した研究開発を推進する日本医療研究開発機構に対して、当該研究課題を達成するために必要な経費の補助を行っているため、政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業である。また、厚生労働行政が所管する医療分野のなかでも特に推進すべき諸課題に関する研究を実施するため、優先度が高い事業となっている。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	研究開発の委託等の支出先の選定に当たっては、課題等の採択プロセスにおいて、第三者の委員により構成される採択審査委員会等を開催し、専門的かつ厳格な審査を行っており妥当である。 また、調達に関しては、支出先の選定に当たり、執行機関の日本医療研究開発機構においては原則として一般競争入札を選定しているが、新たに随意契約を締結することとなる案件については、機構内に設置された契約審査委員会に報告し、会計規定との整合性や、より競争性のある調達手続の実施の可否の観点から点検を受けることとなっており、監事及び外部有識者によって構成する契約監視委員会において事後点検を行い、その審議概要を公表するなど専門的かつ厳格な審査を行っており妥当である。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	応札を辞退した事業者に対し、その理由を確認するためのアンケート調査を行うとともに、辞退理由を共有フィードバックすることにより可能な改善を行い、複数者応札へ取り組む。
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	申請のあった研究計画に対してAMEDが評価を行った上で、必要な経費を交付する、という研究費の性質に鑑みるに受益者との負担関係は妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	研究課題毎に必要な研究費の額は異なるため一概には比較できないが、概ね研究計画にそって事業を実施できているため妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	AMEDにおける支出は、審査等の、事業の遂行に必要な経費に限定されており、合理的なものとなっている。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	—
事業の有効性	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	—
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	「競争的資金における使用ルール等の統一について」(平成27年3月31日競争的資金に関する関係府省連絡会申し合わせ)等に基づき、研究者及び研究機関が研究資金を効果的・効率的に活用できるよう、所要の見直しを行うなど工夫を順次行っている。
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果実績は概ね目標どおりとなっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	—
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	—
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	成果は、論文等により社会に発信され、また、AMEDホームページ等での公表により研究者・研究機関及び国民に活用されている。

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			○		厚生労働科学研究のうち、医療分野の研究については、国立研究開発法人日本医療研究開発機構に一元化することとなったが、その他の厚生労働行政の推進に資する研究（食品安全、労働安全衛生、健康安全・危機管理等に係る研究）については、引き続き厚生労働省で行うこととなっており、性質を異にするもので、適切な役割分担となっている。 日本医療研究開発機構に、医薬品、医療機器等及び医療技術に係る医療分野の研究開発業務に関し、国が戦略的に行う研究費等の配分機能等を集約し、一体的な資金配分を行うとともに、各省それぞれが実施してきた医療分野の研究開発について、プログラムディレクター（PD）の目利き機能を生かした基礎から実用化まで一貫した研究マネジメントのもと、知的財産の専門家による知的財産管理などの研究支援等も含め、基礎から実用化まで切れ目ない研究支援を一体的に行うこととしている。 基礎研究から出口（実用化・事業化）までを見据えた研究開発等推進のため、戦略的イノベーション創造プログラムにおいて内閣府に計上される調整費は、「医療分野の研究開発関連の調整費に関する配分方針」（平成26年6月10日健康・医療戦略推進本部決定）に基づき、健康・医療戦略推進本部決定により現場の状況・ニーズに対応した予算配分及び推進本部による機動的な予算配分がなされるもので、医療研究開発推進事業費補助金とは性質を異にするもので、適切な役割分担となっている。（執行は一体として行う。）
	所管府省名	事業番号	事業名			
	厚生労働省	0887	厚生労働科学研究費補助金（厚生労働行政推進調査事業費補助金を含む）			
	文部科学省	0252	医療分野の研究開発の推進			
	経済産業省	0033	次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業			
	内閣府	0034	戦略的イノベーション創造プログラム（健康・医療分野）			
点検・改善結果	点検結果	平成28年度において、最終目標年度の成果目標に対して着実に成果実績が達成され、執行率はほぼ100%であり、各研究事業の適切かつ効果的な実施及び研究費予算の効率的な執行を図ったところである。				
	改善の方向性	適切に予算を執行し、事業の目標が達成できており、このまま継続して事業を実施する。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現 り 状 通	急速に進むゲノム解析技術の進展を踏まえ、疾患と遺伝要因や環境要因等の関連性解明の成果を迅速に国民に還元するために、解析基盤の強化を図るとともに、特定の疾患の原因解明及びこれに対する臨床応用を推進するために必要な経費であり、引き続き、研究委託先への経費審査の徹底と調達先への競争性の確保、あるいは、随意契約での価格交渉をすること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
通 現 り 状	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	—	平成23年度	—	平成24年度	—	
平成25年度	—	平成26年度	—	平成27年度	914	
平成28年度	88105					



支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	大学共同利用機関法人情報システム研究機構	1012805001385	AMEDゲノム制限共有データベース用ストレージサービスの利用(按分)	11	随意契約(その他)	-	100%	-
2	株式会社東京国際フォーラム	6010001082469	会議室利用	2	随意契約(その他)	-	100%	-
3	株式会社アヴァンティススタッフ	1010001061972	-	0.9		-	-	-
4	株式会社アヴァンティススタッフ	1010001061972	人材派遣業務	0.8	随意契約(少額)	-	100%	-
5	株式会社アヴァンティススタッフ	1010001061972	人材派遣業務(按分)	0.1	一般競争契約(最低価格)	2	89.3%	-
6	日本経営システム株式会社	1010401058577	業務合理化及びIT化のための業務分析とコンサルティング業務(按分)	0.8	一般競争契約(総合評価)	3	62.9%	-
7	扶桑速記印刷株式会社	9010001027784	速記出張録音・テープ起こし業務	0.2	一般競争契約(最低価格)	1	93.6%	-
8	有限会社エフテック	7010802019544	事業公募説明会広報業務(按分)	0.2	随意契約(少額)	-	100%	-
9	株式会社ディーワークス	4010501024410	職員研修(按分)	0.1	一般競争契約(最低価格)	3	96.5%	-
10	株式会社オースビー	4120001121317	評価委員等委嘱・管理外注業務詳細検討支援(按分)	0	随意契約(少額)	-	100%	-
11	株式会社ビジネスITアカデミー	4010001118183	評価システム機能改良業務(按分)	0	随意契約(少額)	-	100%	-
12	株式会社パソナ	1010001067359	人材派遣業務(按分)	0	随意契約(少額)	-	100%	-

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	埼玉県立がんセンター	1000020110001	ゲノム創薬・医療を指向した全国規模の進行固形がん、及び、遺伝性腫瘍臨床ゲノムデータストレージの構築	91	随意契約(公募)	20	100%	-
2	国立感染症研究所	6000012070001	HIV感染症に関する臨床ゲノム情報データストレージの構築に関する研究	57	随意契約(公募)	2	100%	-

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人 がん研究センター	6010005015219	－	565		－	－	－
2	国立研究開発法人 がん研究センター	6010005015219	ゲノム創薬・医療を指向した 全国規模の進行固形がん、及び、 遺伝性腫瘍臨床ゲノムデータストレージの 構築	300	随意契約 (公募)	20	100%	－
3	国立研究開発法人 がん研究センター	6010005015219	メディカル・ゲノムセンター 等におけるゲノム医療実施 体制の構築と人材育成に 関する研究	206	随意契約 (その他)	－	100%	－
4	国立大学法人京都 大学	3130005005532	－	442		－	－	－
5	国立大学法人京都 大学	3130005005532	国内完結型がんクリニカル シーケンスの社会実装と 統合データベース構築およ びゲノム医療人材育成に 関する研究開発	129	随意契約 (公募)	20	100%	－
6	国立大学法人京都 大学	3130005005532	ゲノム医療を促進する臨床 ゲノム情報知識基盤の構 築	110	随意契約 (公募)	8	100%	－
7	国立研究開発法人 国立国際医療研究 センター	8011105004456	－	330		－	－	－
8	国立研究開発法人 国立国際医療研究 センター	8011105004456	ゲノム医療の実装に資する 臨床ゲノム情報統合デー タベースの整備と我が国の 継続的なゲノム医療実施 体制の構築	176	随意契約 (公募)	8	100%	－
9	国立研究開発法人 国立国際医療研究 センター	8011105004456	B型肝炎に関する統合的臨 床ゲノムデータベースの構 築を目指す研究	135	随意契約 (公募)	20	100%	－
10	国立大学法人東京 大学	5010005007398	－	267		－	－	－
11	国立大学法人東京 大学	5010005007398	大規模ゲノム医療体制の 確立と知識データベースの 構築	200	随意契約 (公募)	20	100%	－
12	国立大学法人東京 大学	5010005007398	希少・難病分野の臨床ゲノ ム情報統合データベース 整備	63	随意契約 (公募)	20	100%	－
13	独立行政法人国立 病院機構名古屋医 療センター	1013205001281	－	318		－	－	－
14	独立行政法人国立 病院機構名古屋医 療センター	1013205001281	がん領域における臨床ゲノ ム情報データベースの 整備に関する研究	300	随意契約 (公募)	20	100%	－
15	独立行政法人国立 病院機構名古屋医 療センター	1013205001281	HIV 感染症に関する臨床 ゲノム情報データベースの 構築に関する研究	18	随意契約 (公募)	2	100%	－
16	学校法人慶應義塾	4010405001654	－	294		－	－	－
17	学校法人慶應義塾	4010405001654	希少・難治性疾患領域にお ける臨床ゲノムデータス トレージの整備に関する研究	203	随意契約 (公募)	20	100%	－
18	学校法人慶應義塾	4010405001654	真に個別患者の診療に役 立ち領域横断的に高い拡 張性を有する変異・多型情 報データベースの創成	68	随意契約 (公募)	8	100%	－
19	国立研究開発法人 国立長寿医療研究 センター	4180005012861	－	177		－	－	－
20	国立研究開発法人 国立長寿医療研究 センター	4180005012861	認知症臨床ゲノム情報 データベース構築に関する 開発研究	153	随意契約 (公募)	20	100%	－

21	国立研究開発法人 国立長寿医療研究 センター	4180005012861	メディカル・ゲノムセンター 等におけるゲノム医療実施 体制の構築と人材育成に 関する研究	20	随意契約 (その他)	-	100%	-
22	国立研究開発法人 国立精神・医療研究 センター	6012705001563	-	152		-	-	-
23	国立研究開発法人 国立精神・医療研究 センター	6012705001563	メディカル・ゲノムセンター 等におけるゲノム医療実施 体制の構築と人材育成に 関する研究	62	随意契約 (その他)	-	100%	-
24	国立研究開発法人 国立精神・医療研究 センター	6012705001563	希少・難病分野の臨床ゲノ ム情報統合データベース 整備	41	随意契約 (公募)	20	100%	-
25	国立大学法人信州 大学	3100005006723	-	69		-	-	-
26	国立大学法人信州 大学	3100005006723	感覚器障害領域を対象とし た統合型臨床ゲノム情報 データストレージの構築に 関する研究	50	随意契約 (公募)	20	100%	-
27	国立大学法人信州 大学	3100005006723	希少・難病分野の臨床ゲノ ム情報統合データベース 整備	13	随意契約 (公募)	20	100%	-
28	国立研究開発法人 国立成育医療研究 センター	6010905002126	-	69		-	-	-
29	国立研究開発法人 国立成育医療研究 センター	6010905002126	希少・難病分野の臨床ゲノ ム情報統合データベース 整備	41	随意契約 (公募)	20	100%	-
30	国立研究開発法人 国立成育医療研究 センター	6010905002126	メディカル・ゲノムセンター 等におけるゲノム医療実施 体制の構築と人材育成に 関する研究	16	随意契約 (その他)	-	100%	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		－	－	－	－		－	－	－